

## 「日刊 温暖化新聞」の「企業・団体パートナー」募集のご案内

「日刊 温暖化新聞」(<http://www.daily-ondanka.com>)は、環境ジャーナリスト・枝廣淳子が主宰する、独立した温暖化コミュニケーションサイトとして2007年12月のサイト・オープン以来、たゆまず情報発信を続けてきました。

おかげさまで、ユーザー数・ページビューともに順調に増え、多くの方々に読んでいただいております。大切な温暖化情報ソースのひとつとして、マスコミ担当者ほか関心ある方々が毎日チェックされるなど、高い評価と期待をいただいています。

その期待に応え、日本社会の温暖化への取り組みをさらに加速するために、「日刊 温暖化新聞」では、以下の2つの目的をもって、新しい取り組みを開始することとなりました。

- 1. これからも温暖化の問題に積極的に取り組み、人々に、毎日役立つ情報を提供し続け、より安定した運営を実現すること。**
- 2. 社会の幅広い分野をつなぐプラットフォームからの情報発信として、企業の温暖化への取り組みを一般の人々にも広く伝えていくこと。**

温暖化に関する情報は日々の報道でも増えてきましたが、表層的な出来事に一喜一憂するのではなく、「本質的に重要なことは何なのか」「どのように考え、何をすべきなのか」「世界の各国はどのように動いているのか」「日本社会の各セクターではどのように動いているのか、動くべきなのか」「どのように伝え、広げたらよいのか」といった、全体像とあるべき姿に基づいた情報をわかりやすく伝えることにより、“行動につながる”意識啓発や環境リテラシーの向上を図っていきます。

また、企業や産業界でのさまざまな取り組みにも関わらず、一般の人々の中には「企業は何もやっていない」「企業が悪い」と思っている人々も多いことは残念な事実です。消費者（生活者）と企業は互いに依存しており、影響を与え合っています。その関係性を活かして、取り組みの進んでいる企業を応援し、足りないところは叱咤激励し、同時に、一般の人々にも考えるべきこと・行動すべきことを伝えていきます。



一般の人々に企業や業界の取り組みを伝える上で、現在の障壁になっていることのひとつは、「企業や団体のウェブサイトでアピールしても、なかなか伝わらない」ということでしょう。ひとつには、よほどターゲットを絞って検索する人以外は、企業や団体の温暖化の取り組みを紹介するページにはなかなか行き着かないこと、また、「企業や団体のウェブサイトなんだから、どうせPRでしょ？」という見方も強いこともその理由となっています。

今回、この障壁を乗り越えて、温暖化に取り組んでいる企業や団体の活動を一般の人々に知ってもらうことを大きな目的のひとつとして、「日刊 温暖化新聞」の持続的な運営を応援したいと考えて下さる企業・団体さまを募集し、その活動に関する情報発信をお手伝いする新しい取り組みを開始します。

「日刊 温暖化新聞」を運営するのは、枝廣淳子が主宰する有限会社イーズと、インターネットを活用しての行動変容につながる情報発信では定評のある有限会社グラム・デザインです。1999年より独自の環境情報の発信を続ける枝廣淳子は、アル・ゴア著『不都合な真実』の翻訳や、首相直轄の「地球温暖化問題に関する懇談会」メンバーとしての活動などで知られ、特に一般の人々に伝えるチャンネルとコミュニケーション力が評価されています。

企業や団体側がいま何を考え、何に取り組む、どのような結果を生み出しているのか、どのような課題に直面しているのか——「日刊 温暖化新聞」のサイトを通して伝えていきませんか。社会のステークホルダーダイアログなども展開したいと考えています。企業と関心ある市民の間に共通認識を育んでいき、互いにあるべき方向に向かって進んでいける協働関係を築いていけたら、と望んでいます。

また、ほぼ毎日世界各地から届く「温暖化最新情報」のほか、本質的な理解のために必要な「温暖化ベーシック」、企業人として押さえておくべき世界の最新レポートの概要を紹介する「温暖化レポート」、温暖化に関するさまざまな考え方を紹介する「あの人の温暖化論考」「エダヒロはこう考える」、伝えるために必要なキットやよく出会う質問への答え方などを紹介する「伝える人になる」など、「日刊 温暖化新聞」のコンテンツを活用していただいて、社員教育や社内の意識啓発を進めていただくこともできます。



## 募集概要

### 費用

#### 年間10万円（税別）

「日刊 温暖化新聞」のプラットフォームにて、自社・団体の取り組みを社会に向けて広く発信し、情報掲載費をご負担ください。

### 特典

○ 会員企業・団体さま向けの勉強会やセミナー、ステークホルダーとの会合等にご参加いただけます（参加費実費）  
温暖化に関する最新情報や内外の動向をお伝えする機会や、企業としての取り組みと一緒に考えていく機会を設けます。多様なステークホルダーに伝えるためのコミュニケーションについて学ぶほか、持続可能なビジネスのモデルを考えていく機会にもなります。生物多様性ほか、温暖化にも関わる重要な問題を共に学ぶことが出来ます。

○ 「日刊 温暖化新聞」にて「温暖化に取り組み、伝える企業・団体」のデータベースに御社の取り組み情報を掲載していただくことができます（掲載例をご覧ください）。お知らせ欄は、随時ご自身で更新できますので、大事な取り組みや最新のお知らせ等をタイミングよく発信してください。私たち編集部も注目し、さまざまな場面での講演や対談、政府委員会等での発言などに活用させていただきます。

○ 報道関係ユーザーのご利用が多いサイトですので、御社のCSR広報にもご活用いただけると存じます。

○ 日刊 温暖化新聞のコンテンツを二次利用（転載）していただくことができます。（商用・社外向けの場合、下記の条件にてご利用いただけます。）

※温暖化NEWSの記事利用は月20本まで。

※同一記事でもメディアが変われば2本にカウントします。

※1メディアとは：1雑誌、1ウェブサイト、1メールマガジンなど

※日刊 温暖化新聞 <http://daily-ondanka.com> より と必ず併記ください。

※温暖化ニュース以外の記事利用に関してはご相談ください。

※これを超えるご利用については事前にご相談ください。

※利用にあたっては記事URLと媒体名をメールでご報告ください（事後で構いません）。



## お申し込みの手順

- 1 当ウェブサイトのお申し込みフォームより、担当者さまのご連絡先を送信ください。  
日刊 温暖化新聞 企業・団体パートナーお申し込みフォーム  
[http://daily-ondanka.com/partnership/partner\\_form.html](http://daily-ondanka.com/partnership/partner_form.html)
- 2 折り返し、ご指定のメールアドレスにお振込先のご案内と、サイト掲載用情報登録フォーム (Excel) をお送りします。
- 3
  - ・情報掲載費を期日までに指定銀行へお振り込みください。
  - ・御社の温暖化への取り組みに関する情報を Excel のフォームに入力し、メールに添付してお送りください。

※ご不明、ご不便な点があれば、スタッフがサポートいたしますので、どうぞ遠慮なくご相談ください。  
※ご入金とファイルの送信はどちらが先でも構いません。
- 4 お寄せ頂いた取り組みの情報を公開し、更新用の ID とパスワードをお知らせします。
- 5 企業・団体パートナーさまは専用のページにアクセスし、いつでもご都合の良いタイミングで、自由に編集してください。

「日刊 温暖化新聞」のホームページ <http://daily-ondanka.com/>

「日刊 温暖化新聞」パートナーシップ事務局への問い合わせ

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-11-12・3F

Tel : 03-5426-1128 Fax :03-6413-3762 (担当：飯田／館岡)

なお、お申し込みは、原則として温暖化の問題に取り組んでいることをホームページに公開している企業・団体さまを優先させていただきます。(取り組みに関する広報活動を行っていない場合やホームページを公開していない場合などについては、どうぞご相談ください)

何か不明点等ございましたら、ご連絡くださいませ。

今後とも「日刊 温暖化新聞」をどうぞよろしくお願いたします。

「日刊 温暖化新聞」パートナーシップ事務局



「日刊 温暖化新聞」の「企業・団体パートナー」募集のご案内

「温暖化に取り組み、伝える企業・団体」のデータベース 情報掲載例

daily-ondanka.com

エタヒロはこう考える RSS

ホーム | 温暖化NEWS | 温暖化BASIC | 温暖化REPORT | 温暖化FAQ | しくみを覚える | あの人の温暖化論考 | 伝える人になる | パートナーシップ

企業・団体パートナーの取り組み | 企業・団体パートナー一覧 | 募集のご案内 | イベント・フォーラム

---

取り組み一覧

**有限会社イーズ**

お知らせ

2009年09月09日 [※「私の森」のウェブサイト、リニューアルオープンしました](#)

2009年05月05日 [※「がんばれば温暖化への取り組みももっと進むぞ!!」アンケート調査結果を発表しました](#)

2009年03月24日 [2008年03月24日「地方自治体の温暖化対策目標と計画に関する調査」報告書を発表しました](#)

関連キーワード > 林廣洋子 日刊 温暖化新聞 私の森.jp

**有限会社イーズは、社会全体の環境負荷削減と持続可能な社会への移行をめざした情報発信を行っています。**



私の森.jp

有限会社イーズは、地球温暖化を伴う環境問題や持続可能性に関する情報発信を通じて、社会全体の持続可能性に向けた取り組みを加速させ、結果的に環境負荷を下げることを目的として、さまざまな活動しています。

2007年12月には、ウェブサイト「日刊 温暖化新聞」をオープンし、世界の温暖化をめぐる最新の動きや、発信するほか、温暖化の基礎知識や、温暖化の現状や対策についてより深く知するための国内外のレポート、著名な専門家やオピニオンリーダーの論考などを紹介しています。

また、2008年3月には、二酸化炭素の吸収源である森林を守り育てる取り組みとして、情報ポータルサイト「私の森」を立ち上げました。日本は森林面積が国土の67%という豊かな資源を所産しながら、輸入材の多用や化石燃料への転換により木材自給率が20%に落ち込み、あちこちで日本の森が荒れています。そのような状況のなか、「私の森」では、人々の暮らしや憩いが「森」につながるようさまざまな角度から森のコンテンツを提供しています。

一方、オフィスでの環境の取り組みも進めています。毎月のオフィスの電気・ガス・水の使用量やゴミの量を測り、環境家計簿をつけることで、社員の間での意識を高め、省エネ・省資源化に努めています。その結果、2008年1月から8月までの8ヶ月間で、電気使用量および二酸化炭素排出量を半減させることができました。

また、2008年4月にはグリーン電力証書を取得。これにより、オフィスの運営に必要なエネルギーをすべてバイオマス発電によるグリーン電力がいたしました。

そのほか、オフィスの各照明にはオン/オフ用のひもをとりつけて不要な照明は消す、夏場もなるべくクーラーをつけずできるだけ窓をあけて自然風を利用する、マイ箸、マイバックはもちろん、お弁当を買ったときにはお皿やマイカップを持参するなど、日常の中のちょっとした工夫でできるエコな取り組みを心がけています。

**関連リンク**

※ 日刊 温暖化新聞

※ 私の森.jp

※ ちょっと待って採らないでプロジェクト

**温暖化に効くイチオシ商品・サービス**

 **日刊 温暖化新聞**  
※ 詳細はこちら(別ウインドウで開きます)

**企業データ**

本社	東京都
Webサイト	※ 有限会社イーズ

取り組み一覧

Copyright © daily-ondanka.com

このページのTOPへ



## 「日刊 温暖化新聞」掲載紙・メディア紹介一覧

### 新聞

削減の上位は和歌山、京都 CO<sub>2</sub>の都道府県ランキング (2008年3月24日 共同通信)

削減上位は和歌山、京都 CO<sub>2</sub>、都道府県ランキング (2008年3月24日 京都新聞)

本県はワースト2 CO<sub>2</sub>削減 都道府県順位 (2008年4月3日 秋田さきがけ)

兵庫のエコ通信簿 (2008年5月23日 神戸新聞)

環境力 東京のCO<sub>2</sub>高知が「削減」 (2008年8月22日 日本経済新聞)

### 雑誌

「コモ」2008年4月号

「グリーンスタイル」Vol.13

### T V

福島テレビ (2008年3月26日放映)

テレビ東京「速ホッ！」(2008年4月29日放映)

## ユーザー数・ページビューの伸び



## 「日刊 温暖化新聞」へのエール

 僕の物差しの一つにさせてもらっています。

説明するのは難しいんですが、直感も含めて、僕は枝廣淳子という人をかなり信用しているし、最近では「彼女ならどう考え、感じるのか」ということを僕の物差しの一つにさせてもらっています。

同じ時代に生きている我々は、個々にいろいろ違いはあるにせよ、僕らが何を模索し、どう未来に立ち向かっていくのが重要であることには違いありません。

そのことに関して、彼女は、あまりぶれることなく淡々と前に進んで行きます（少なくとも僕にはそう見えます）。

そんな彼女がやっている「日刊 温暖化新聞」。本当に、枝廣さんらしい取り組みだなと思っています。

僕も、毎日見るような習慣をつけます、必ず。

音楽プロデューサー、キーボーディスト 小林 武史さん

 私たちができることを考えるための、貴重な手がかりです。

地球温暖化というけれど、どこで何が起きているのか。それに対して、人類は、国際機関は、各国政府は、何をしているのか。あるいは、何をしていないのか。まずは、それを知り、そこから、私たちができることを考える。

この「日刊 温暖化新聞」は、そのための貴重な手がかりです。

ジャーナリスト 池上 彰さん

 ぼくも ほぼ毎日「日刊 温暖化新聞」をチェックしてます。

ぼくもほぼ毎日「日刊 温暖化新聞」をチェックしています。

情報や知識が簡潔に、見やすくまとめられているので、とても役に立ってます。

これからも、貴重な情報をぼくたちに提供してください。

音楽家 坂本 龍一さん



 ジャーナリストにとって、貴重な情報源となっています。

環境問題の報道に携わるジャーナリストにとって、この「日刊 温暖化新聞」は、とても貴重な情報源となっています。特に海外の動きをこれだけ迅速に日本語で伝えてくれるメディアは他にありません。

原文サイトをリンクしてくれているので、詳しい情報にすぐアクセスできます。また、新技術の導入や製品開発の情報など、日々ダイナミックに動きつつある経済の動向もキャッチすることができ、番組取材の参考にさせていただいています。

これからも、「日刊 温暖化新聞」のさらなる発展を応援します。

NHK「SAVE THE FUTURE」プロジェクト担当  
専任ディレクター 西川 美和子さん

 温暖化を本気で伝えるためのウェブサイトです。

温暖化という問題が大変らしいということは多くの人が知っている時代になりました。しかし、そのうちのほとんどの人たちは、ではどうしたらよいのかわからず、結局のところ何もしていないだろうと思います。

温暖化を本気で心配している一部の人にとって、「わかってない人がたくさんいる」「なかなか伝わらない」「なぜみんな何もしないのか」と憂えたり嘆いたり世間を責めたりするのは簡単ですが、もちろんそれでは温暖化は解決に向かいません。

ではどうやって伝えたらよいか、それを本気で考えている人が枝廣淳子さんなのだと思います。そして枝廣さんが本気で伝えるアイデアが結晶したものが「日刊 温暖化新聞」です。その内容は主に情報提供と視点の提供であり、決して押しつけがましくないところが、また枝廣さんらしくてよいですね。

このサイトを活用する人が少しずつ増えることで、やがては「なかなか伝わらない」と嘆いていた時代が過去のものになることを祈っています。

国立環境研究所 地球環境研究センター 温暖化リスク評価研究室長  
江守 正多さん

